

# 2024年度 東京応化科学技術振興財団 個別報告書 12-2

開催日時	2024年11月1日（金） 開始時間 8時50分 終了時間 12時20分						
開催場所	相模原市立鶴園小学校						
実施内容	ビタミンCがたっぷりなものは？						
学年、組、等	6年2組		6年4組				参加児童数計
児童数	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	
	33名	3名	35名	1名			68名
スタッフ	7名	教員+補助員		2名			

**基本事項:** 従前より PPT のスライドに記載した内容で授業を進めているが、実験手法についてはスタッフで協議した時折の最善な方法に改良を加えている。今回も前回に従い、従前は試薬・希釈したウガイ薬・に加えたいたでんぷん無しで実験を行った。これにより試薬の色が青紫→茶色・淡い・となっている。

- 授業内容:**
- ①実験ノートに記載 こうした実験を行う場合、実験環境を記録しておくことが非常に大事なことであることを説明して記録を取ってもらった。
  - ②5大栄養素 既に別の科目で学んでいて良く理解している様だが本題のビタミンについての造詣はあまり感じなかった。とくにビタミンCについてはTV等のコマーシャルに影響されている様な意見があった。
  - ③予想 実験に使われる5種類の食材・レモン果汁・丸ごとレモン・緑ピーマン・赤パプリカ・キウイ・について児童が感じた順位付けをしてもらうと、1位は2クラス共丸ごとレモン、2位がレモンであった。従前の授業での答えはレモンがダントツ1位であったが、やはり似たもの2つが出てくると何か有ると思うのか、さすがに現代子。賢い。
  - ④実験結果 1位・丸ごとレモン2位・赤パプリカ3位・緑ピーマン4位・キウイ5位・レモン果汁。国が発表している公式の数値とは多少異なるがこの簡単な実験器具からの答えとしては十分な結果では無いだろうか。添付写真の最後にビタミンCで還元されて無色化した最終試薬を示すが、多くはほぼ無色になっているのに対し、緑ピーマンと赤パプリカは資料の色が認められる。つまり丁度の還元ポイントを過ぎていたのである。

**考察:** 実験終了後児童自身が付けた予想も含めて実験についての感想を聞いてみた。多くの児童が感じたのはレモン果汁には『それ程ビタミンCは無いんだ』・ビタミンCが多いのはレモンが常識・で有った。それはどうして??と聞くと、『C Cレモンと言うTVコマーシャルのフレーズが耳に残っていた』とのことで有る。結論として世の中で言われていることは100%では無い→自身で経験することが大事、と説明して授業を終了した。

